



ニュースは下記へどうぞ

湯ヶ峰登り自然観察

龍の瞳倶楽部 10人が発足記念行事

下呂市



下呂市の湯ヶ峰で第1回行事を開いたNPO法人「龍の瞳倶楽部」のメンバーら

下呂市生まれの大粒米・龍の瞳の収益を原資に森と川の再生を目指すNPO法人「龍の瞳倶楽部（くらぶ）」が三月に県認証を得て正式発足、初行事として同市湯ヶ峰登山を行

い、十人が参加した。龍の瞳は二〇〇〇（平成十二）年に同市萩原町宮田の今井隆さん（五三）が発見。「いのちの巻」として新品種登録し、合資会社「龍の瞳」を設立して販売している。全国コンクールでも入賞している。この日は同市森の縄文公園に集合。代表

理事となった今井さんが「地に根付いたもの、心の豊かさを求めるべき時。山歩きで何をすべきか考えよう」とあいさつ。森林に詳しい同町四美の伊藤栄一理事の案内で湯ヶ峰に登り、人工林と自然林の植生を観察。昼には釜炊きの「龍の瞳」を味わい、今後の活動について話し合った。
(永井 慶)

※本紙の掲載料は、お問い合わせください。